

登米市公共施設等総合管理計画 概要版（公共施設等の安全・安心な施設・設備の管理・更新指針）

第1章 策定の背景と目的

（背景）

1 人口減少等による利用需要の変化

少子高齢化、人口減少等により、今後の公共施設等の利用需要の変化が見込まれる

2 厳しい財政状況

過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える一方、財政は依然として厳しい状況にある

3 市町村合併後の施設全体の最適化

合併により公共施設の設置目的やサービス内容が類似する施設が多く、施設全体の最適化を図る必要性がある

（目的）

公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって行政サービスを維持しながら、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うことにより、財政負担を軽減、平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現する

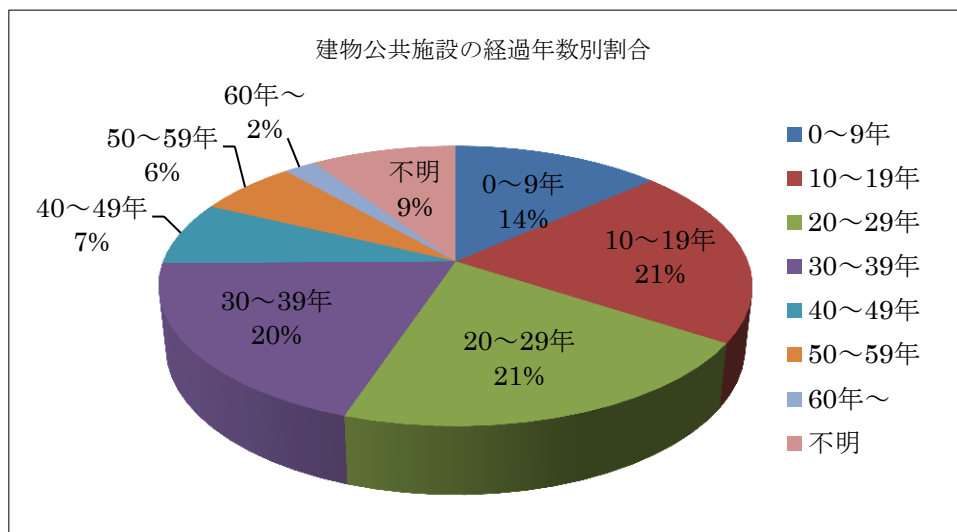


「登米市公共施設等総合管理計画」を策定

第2章 本市の現状

（1）公共施設の老朽化

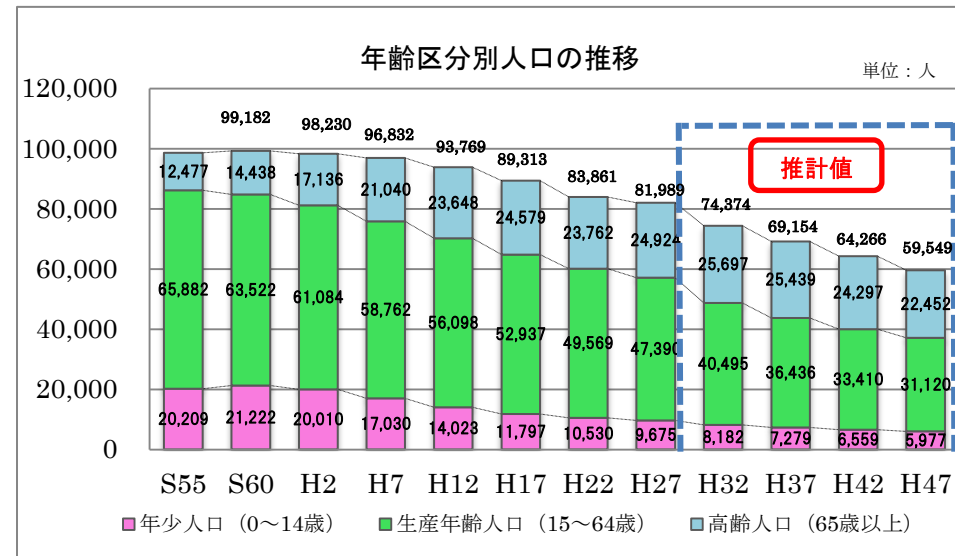
本市の公共施設は合併前に旧町が整備したものが多く、築30年を超える建物公共施設が約4割を占めている状況で、10年後には約7割となり、老朽化に伴う将来的な財政負担の増大や集中が懸念されています。



（2）将来人口の推計

本市の総人口は合併した平成17年度には89千人、平成27年度には82千人と10年間で約8千減少、将来人口推計からも、今後もこの減少傾向が続くと見込まれています。

また、年齢区分を見ても、年少や生産年齢人口の減少と高齢人口の増加という本格的な少子高齢化社会が進行しています。



第3章 公共施設等の現状と課題

（1）施設別保有状況

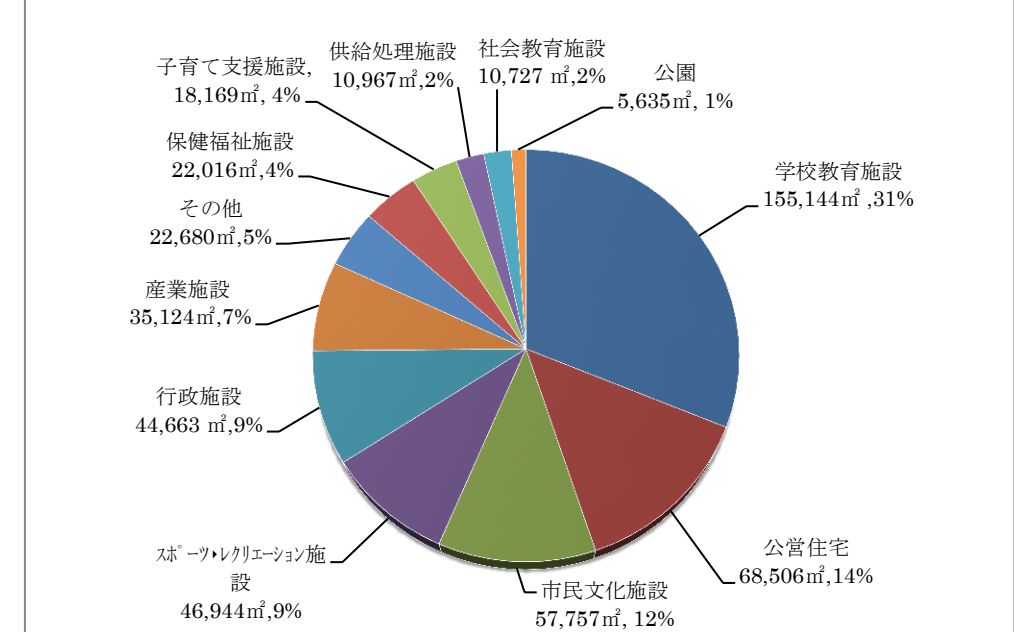
平成27年3月31日時点で、本市が保有する建物公共施設は743施設あり、総延床面積は498,332㎡となっています。

表3-2 建物公共施設の分類別保有状況

中分類	小分類	施設数	棟数	面積
市民文化施設	集会施設	92	131棟	52,418㎡
	文化施設	2	9棟	5,339㎡
社会教育施設	博物館等	16	29棟	10,392㎡
	図書館	1	2棟	335㎡
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	32	63棟	39,232㎡
	レクリエーション施設			
	観光施設	22	39棟	7,712㎡
産業施設	産業施設	38	56棟	35,124㎡
学校教育施設	学校	32	188棟	149,697㎡
	その他教育施設	7	14棟	5,447㎡
子育て支援施設	幼稚園・保育所	22	46棟	15,713㎡
	幼児・児童施設	7	8棟	2,456㎡
	高齢福祉施設	19	31棟	14,756㎡
保健・福祉施設	障害福祉施設	6	7棟	1,241㎡
	児童福祉施設	1	2棟	849㎡
	保健施設	7	9棟	5,170㎡
行政施設	庁舎	10	30棟	31,661㎡
	消防施設	206	212棟	11,584㎡
	その他行政施設	13	13棟	1,418㎡
公営住宅	公営住宅	74	440棟	68,506㎡
公園	公園	66	108棟	5,635㎡
供給処理施設	供給処理施設	3	9棟	10,967㎡
その他	その他	67	103棟	22,680㎡
総計		743	1,549棟	498,332㎡

延床面積で見ると、学校教育施設が全体面積の31%、公営住宅を合わせると全体の45%を占めています。

図3-1 建物公共施設の保有状況（中分類）



本市は合併により、多くの公共施設等を引き継いでおり、今後、建替え更新費用や大規模改修費用が増大していくものと見込まれることから、保有施設全体の約6割を占めている学校教育施設、公営住宅、市民文化施設について、厳しい財政状況の制約の中でいかにして最適な配置と効果的な管理に努めるかが課題となります。

公共施設等保有状況

<一般会計施設>

- ① 建物公共施設…施設数743、棟数1,549、延床面積49万8千㎡
- ② 道路…路線数5,120、延長2,734km、面積1,371万7千㎡
- ③ 農道…路線数164、延長62km、面積29万7千㎡
- ④ 林道…路線数79、延長121km
- ⑤ 橋りょう…箇所数1,356、延長10km、面積5万4千㎡
- ⑥ トンネル…箇所数1、延長0.04km
- ⑦ 河川…河川数190、延長308km
- ⑧ 水路…路線数90、延長227km
- ⑨ ため池…箇所数262

<企業会計施設>

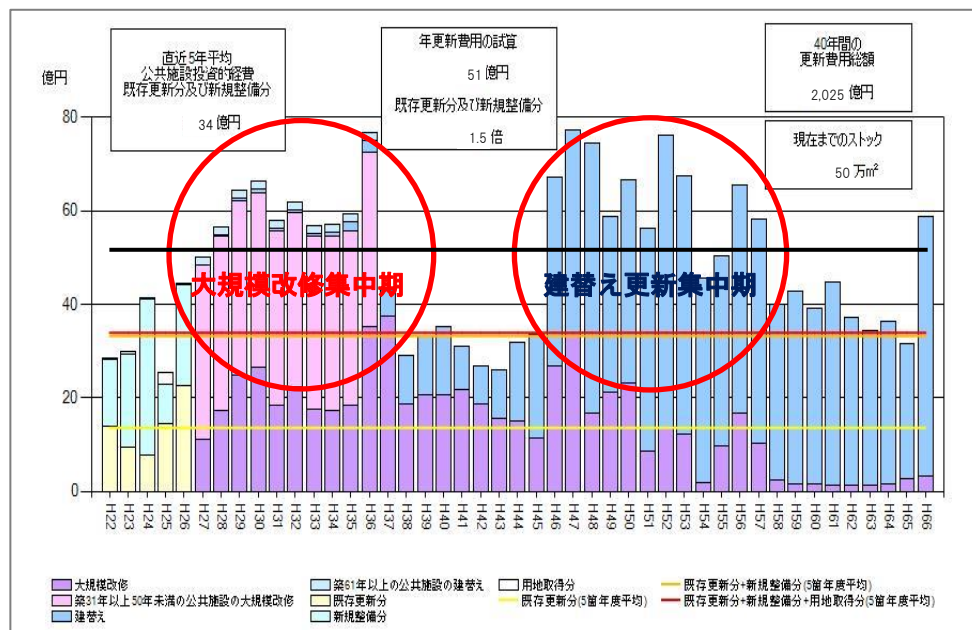
- ⑩ 上水道…建物延床面積4,251㎡、布設管路延長1,431km
- ⑪ 下水道…建物延床面積1万3千㎡、布設管路延長555km
- ⑫ 病院…施設数23、棟数76、建物延床面積4万㎡

平成27年3月31日現在

登米市公共施設等総合管理計画 概要版（公共施設等の安全・安心な施設・設備の管理・更新指針）

総務省の公共施設等更新費用試算ソフトにより、今後40年間に要する建替え更新費用と大規模改修費用を試算すると、総額で約2,025億円、年平均で約51億円となり、直近5年間の投資的経費の年平均額34億円の1.5倍の費用が必要となります。

建物公共施設の将来更新費用の推計



	将来更新費用の一覧			
	過去5年 投資平均額	40年間整備額	1年あたり整備額	倍率
建物公共施設	34	2,025	51	1.5倍
道路	15	1,120	28	1.9倍
橋りょう	0.04	161	4	100.0倍
上水道	12	1,421	36	3.0倍
下水道	12	583	15	1.3倍
病院	8	194	4.8	0.6倍

第4章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

計画対象

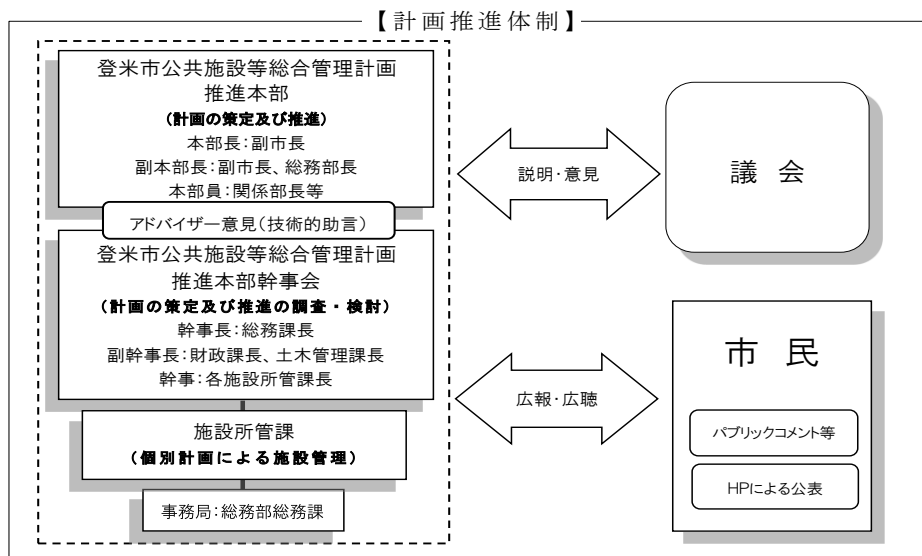
本市の所有する全ての公共施設等（建物公共施設、道路や橋りょう等のインフラ施設、水道や病院等の企業会計施設を含む）

計画期間

平成28年度から平成47年度までの20年間（5年ごとに見直し）

推進体制

登米市公共施設等総合管理計画推進本部を設置し、全庁横断的に情報を共有し実効性のある取組として計画を管理・推進



基本方針

本計画は単なる整理・合理化計画ではなく、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成を推進し、まちの未来を創っていく公共施設等の再生・創生を目指し、まちづくりを支える公共施設等のマネジメントを行うための計画とします

公共施設等の現状を十分認識し、施設の老朽化、維持・更新費用の財源確保、人口減少などによる市民ニーズの変化などの課題を解決するため、『長寿命化・資産保有の最適化・財産の有効活用』の3つの視点を基本方針とします

本計画に基づく施設ごとの個別計画を策定し推進していきます

(1) 「施設の長寿命化」

持続可能な財産運営を可能にするため、施設・設備について長寿命化に配慮する

(2) 「資産保有の最適化」

少子高齢化の進展により変化する多様な市民ニーズに対応し、本市のまちづくりを支える拠点施設の整備や施設の多機能・複合化などにより、将来の財政状況等を見据えた建築物総量の管理を行う

(3) 「財産の有効活用」

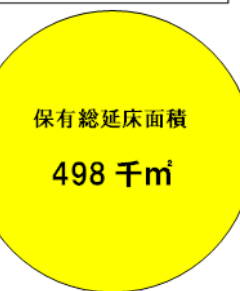
市全体や地域の施策推進や課題解決に向け、公民連携や民間活力の導入など多様な効果創出のための財産の有効活用の取組を拡大する

全体目標

建物公共施設

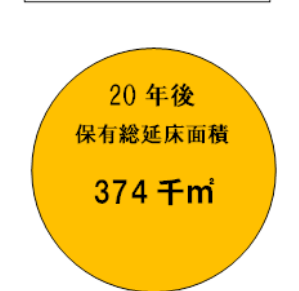
まちづくりを支える拠点施設の整備を進めるとともに、公共施設の多機能・複合化により施設機能を充実させ、類似施設の統合・集約化を推進しながら、20年間で保有総延床面積を25%（124千㎡）縮減し、374千㎡を目標とします

平成27年度(基準年)



△25.0%

平成47年度(目標年)



土木公共施設・企業会計公共施設

予防保全型の維持管理による長寿命化とトータルコストの縮減に努め、現状の維持管理経費の更なる抑制に取り組めます

フォローアップの実施方針

総合計画との整合性を図り、社会情勢の変化等にも柔軟に対応する観点から5年に1度見直しを行うこととし、本計画の進捗状況等については、推進本部において点検・評価を行ったうえで、市民に対し公表し市全体で情報の共有を図ります

第5章 施設類型ごとの管理に関する基本方針

施設類型別基本方針

全体目標を基本に施設の目的ごとに33の小分類毎に整理し、現状と課題に関する基本認識、管理の基本的な考え方、目標等の方針を定めました

将来にわたり住み続けたい

住んでみたいまちの未来を創る

公共施設の再生・創生を目指して!!